

ISO9001 外部審査結果

1・組織情報

組織名	社会福祉法人 富士会
所在地	愛知県知立市山屋敷町富士塚1番地336
主要業務	特別養護老人ホーム・ショートステイ・小規模特養・ケアハウス・老人短期入所事業所 デイサービスセンター・ホームヘルパー派遣事業所・在宅介護支援センター 介護付有料老人ホーム

2・審査種類

	品質マネジメントシステム 第2回 サーベイランス
--	--------------------------

3・審査実施日

	2022年6月23日(木)
--	---------------

4・基準文書

適用規格	JIS Q 9001:2015(ISO9001:2015)
------	-------------------------------

5・審査者

	一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO審査登録センター
--	-----------------------------

6・審査結果

	登録承認
--	------

7・観察・高等指摘事項

○	<トップマネジメント> 5.1.1 理事長は、ワンズカルテをさらに進化され、ケア現場での利用拡大を模索していた。今までは、心臓の周波数による解析をベースとしていたが、今回の改修として、脳波との相互関係を新たな指標とし、より精度の高い利用者の体調不良予測に活用していた。そのことによる効果は、直接的な指標で明確にはなっていないものの、予防介護には十分機能していることがうかがえた。
○	<品質管理責任者、ISO事務局> 10.3 昨年、水平展開での質向上に対して取り組みを実施している。 前回サーベイランスの観察事項3件については、組織としての今後の対応について検討していた。また、内部監査、インシデント・アクシデント(事故)、苦情やヒヤリハットなどについても、リスクマネジメント委員会で水平展開できる仕組みを構築し、実践していた。
○	<給食事業部> 9.1.2 利用者に食事を通して喜びを感じていただく取り組みが実践されていた。年1回の嗜好調査アンケート。日々の介助スタッフからのフィードバックと個別利用者のケースシートへの記載を行っている。その結果をもとに委託先と改善を実施していた。スピード感の活動が行われていた。
○	<給食事業部> 10.3 昨年、異物混入が多発した事象に対して、給食事業部として、調理の方法、食材の梱包材の管理など、手順書に画像活用したものを作成し、委託先と業務改善および再発防止に取り組んでいた。
○	<特養・ショート事業部介護課> 6.2 開発したレクリエーションの評価を、独創性・努力度・コスト評価・汎用性・満足・有効性・安全性で評価、点数の高いレクリエーションを採用し、さらに手順も開発していました。目標の達成評価方法が建設的かつ具体的で良い仕組みです。

○	<p><デイサービスセンター事業部> 6.1.1 過去3年右肩下がりの状態となっている。これはコロナウイルス感染拡大の影響だけではないと推測し、今年度から詳細に分析を始めている。知立市内の他事業所の状況なども調査していた。まだ、分析段階であり、要因の追求はできていないが、現在のデイサービスセンターの在り方、法人としての方向性についても、分析を進めるとのことであった。法人の将来計画にも大きく影響を与えるため、新規事業の提案も含め、進めていただきたい。</p>
○	<p><居宅介護支援事業部> 9.1.2 業務稼働率91%(2021年)の中、アンケート調査項目ケアプランが現状とあっているかに不満、やや不満が0件なのは、日ごろからのモニタリングや利用者様の対応が効果的に機能している証と評価できます。</p>
△	<p><品質管理責任者、ISO事務局> 10.21 インシデント・アクシデント(事故)について、分析方法について、検討の余地がある。真の原因分析に対して今まで以上の深堀を期待する。多くの事例で、当該担当者の認識不足があげられているが、教育不足、職場環境、プロセスデザインの問題などがある。また、担当者の心情的な要素も加わることがある。それらを加味した真の原因分析をされることを期待します。</p>
○	<p><小規模特養事業部> 6.2 オムツ交換回数見直しによりコスト30%削減目標を大きく上回り68%削減結果は評価できます。更に、夜間の交換が減った事で利用者様の安眠と職員の業務負担軽減が見えない形ではあるが、改善している事は、非常に良い取り組みと評価できます。</p>
△	<p><デイサービスセンター事業部> 7.1.3 10月からアルコール検知器による送迎ドライバーなどの体調確認が義務付けとなります。その準備状況について確認しましたが、遅れないように準備が進んでいるか、進捗管理をお願いします。</p>
△	<p><特養・ショート事業部介護課> 6.2 上記の評価項目で点数の低かった項目は、内容によってはリスクととらえ、安全性を考慮したりリスク対策・回避の観点を手順に取り込む改善の余地があります。</p>
口頭	<p><デイサービス> 教育計画において、免除となっているが、「免」の印しかない。免除は問題ないが、その根拠が示せるようにすると良い。</p>

以上の結果に基づき、改善すべきものは各事業所で行い、合わせて水平展開が必要なものは他の事業でも改善を心がけています。水平展開も含め改善できたか否かの確認は内部監査で確認する事とし、その完了が一目で分かるよう「内部監査のまとめ」にて記録しています。